

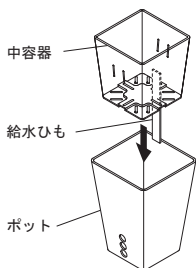
アーチプランターGR2201、GR2202の使い方について

153	S=1/50	154	S=1/50	S=1/25	S=1/50
<p>GR2379~GR2398 GR2485~GR2498</p>		<p>GR2201、GR2202</p>		<p>土容量鉢 1ヶ約0.6ℓ</p>	<p>鉢を出した場合</p> <p>土容量約 4ℓ</p>

底面給水鉢に植える場合

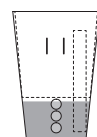
一般的な底面給水鉢と使い方は同じです。

プランターには鉢が5ヶ付属しています。その鉢(中容器)に土を入れて苗を植えます。(土、苗は別途市販のものをお求めください。) 底面給水鉢はポットと中容器の2重構造になっています。



毛細管現象で、ポットの水を給水ひもを伝って植物に必要な分だけ吸い上げます。

1. 給水ひもを中容器下の穴から半分程度出るようにセットします。
2. 土を入れて苗を植えます。(底に石を入れると水が吸い上げられない場合があるので、給水ひもが土の中に埋まるようにしてください。) サイズの目安として、市販されている3.5号(10.5cm)のポリポットから植え替えることができます。
3. 植えた後すぐは、下から水を吸えない場合があるので、最初中容器をポットから出して、上から鉢土にしっかり水をやってください。
4. 通常の水やりは、ポットの中の水がなくなったら、中容器を持ち上げて外側のポットに補給します。中容器の底に水がつかない程度を目安に補給してください。使用場所や環境にもよりますが、冬は1週間に1回、夏は3日に1回程度が目安です。



- ※底面給水鉢の外側のポットには穴がありません。雨や水のかかる場所では水がたまり根ぐされをおこす場合があります。屋内か雨のかからない場所でお使いください。
- ※植物は生き物です。環境や状況によって様々なことが考えられます。上記記載内容はあくまで一般的な方法を参考のため記載しています。上記内容に限らず状況により植物の様子をみながら対応し、お使いください。
- ※底面給水鉢は短期使用向きです。植物が成長し根が詰まったら市販の大きい鉢などに植え替えてください。

プランターに直に植える場合

一般的なプランターと使い方は同じです。

鉢と玉砂利ウエイトを出したところ



GR2201

GR2202

1. 付属している底面給水鉢を出してください。(鉢だけで別にお使いいただけます。)
2. 玉砂利ウエイトはそのまま水はけのための底石にお使いいただけます。
3. 土を入れて苗を植えてお使いください。(土、苗は別途市販のものをお求めください。)

※土容量は約4ℓです。デザイン上、土を多く入れられないので、根の良くはるものや苗をたくさん植えることには向きません。ご了承ください。